

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）

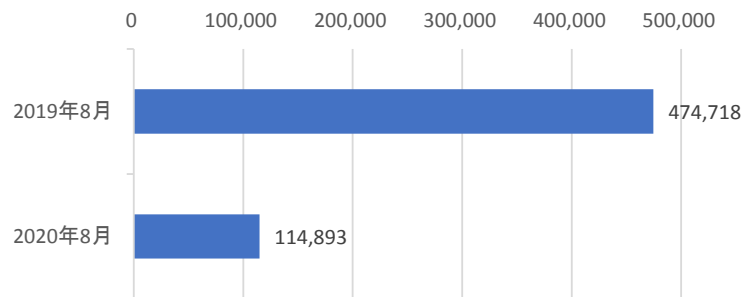
調査対象：292軒 うち回答：55軒（回答率18.8%）

1. 8月の状況について

① 宿泊人数について

（単位：名）

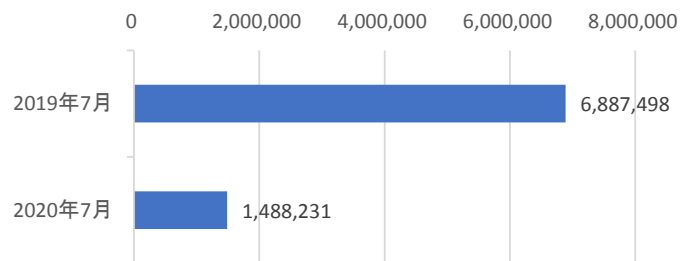
	宿泊人数
2019年8月	474,718
2020年8月	114,893
差	▲ 359,825 (名)



② 売上について

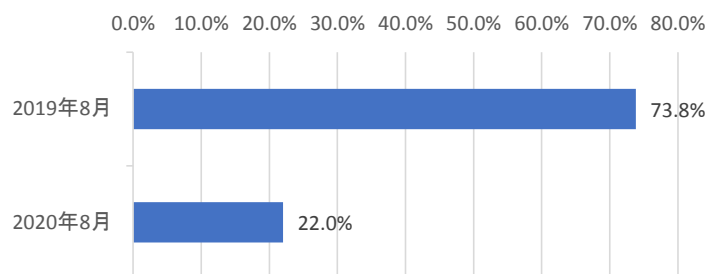
（単位：千円）

	売上金額
2019年8月	6,887,498
2020年8月	1,488,231
売上差額	▲ 5,399,267 (千円)



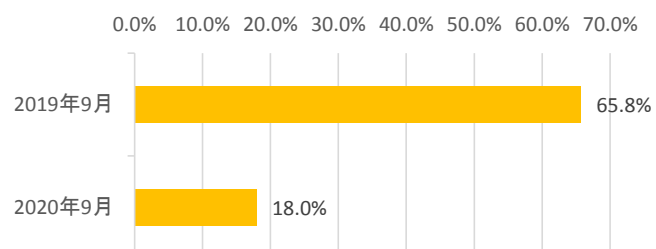
③ 稼働率について

	稼働率平均
2019年8月	平均 73.8%
2020年8月	平均 22.0%
差	平均 ▲51.8%



2. 9月の稼働率について

	稼働率平均
2019年9月	平均 65.8%
2020年9月（8/末時点）	平均 18.0%
差	平均 ▲47.7%



3. 10月以降の動向状況について

- ・修学旅行については来年の1月～3月頃へ延期あるいは中止となっている。また、民泊の振替などで新規のお問い合わせもある。
- ・修学旅行は10月以降はキャンセルが続いている。個人旅行についても前年の65.1%と厳しい状況であります。
- ・修学旅行については来年の1月～3月頃へ延期あるいは中止となっている。また、民泊の振替などで新規のお問い合わせもある。日程の延期や取消となる学校が増えている。
- ・修学旅行は来年の1月～3月頃へ延期。中止になるものが多くなっている。リアルAGTのキャンセルが多く、OTAの比重が大きくなってきている。
- ・修学旅行16校・3,660人泊、中止または日程変更の為キャンセル残る学校も数校あるが、心配。沖縄県の緊急事態宣言延長もあり一般個人客の予約も低調。（悪い）
- ・修学旅行は全てキャンセルだった。（延期なし）
- ・修学旅行を含む団体旅行、婚礼・地元宴会の中止・延期が増加しており厳しい状況。
- ・10月の修学旅行は全てキャンセルになりました。11月の予約は残っていますがキャンセルになるかもしれません。
- ・10月の団体はほとんどキャンセルに近い。修学旅行は2月に振替多し、11月はまだ減っていない。昨年同日と比べ2割程度の稼働。単価も低い。
- ・10月の修学旅行がすべて延期又は中止になった。
- ・修学旅行に関しては沖縄へは自粛を促されている県があります。取り消しと日程変更が半々です。
- ・修学旅行の最終的な取消判断が出て来ている。その他一般団体が募集型企画旅行も後倒しになってきている。
- ・一般団体旅行については1月～3月の予約のキャンセルが多い。又、修学旅行も同様延期が多い。
- ・9月に引き続き10月もほぼ修学旅行が中止となった。
- ・9月・10月の修学旅行全てキャンセル。11月・12月もキャンセルが出始めている。
- ・10月の修学旅行は全てキャンセルになり、11月・12月の延期、中止も増えてきている。
- ・9月～11月とも現状横ばい。オンハンドは前年同時期の約半分。今後状況によりマイナスに動く可能性有り。募集・インセンティブ団体は皆無。教育旅行（決定校）分も状況次第でキャンセルになる可能性有り。
- ・10月までは教育旅行は全て延期又はキャンセル11月以降も延期、キャンセルが増えている。新規予約が非常に少ない状況。団体の問い合わせもほぼ無し。
- ・いまだ個人のお客様の予約は直近が多いが団体（修学旅行）の予約は出たり入ったりの現状。
- ・予約されていた団体のキャンセルが増えてきた。
- ・ずっと、低稼働が続いており修学旅行がキャンセルになれば、稼働が10%程度の月が続くと思われる。
- ・相変わらずオンハンドが伸びなく、団体問合せなく、11月の仮イベント団体がキャンセルとなりました。
- ・イベント学会関係の団体はほぼキャンセル
- ・10月以降も前年同日比2割程度と厳しい。団体キャンセルが続く、団体新規問い合わせもほとんどない。
- ・コロナの影響で一度すべての団体予約がキャンセルとなった。最近は数件程度の団体予約が入ってはいますが、やはりコロナの状況次第ではキャンセルになるという条件付きのものばかりです。
- ・9月10月ともにFITのピックアップが非常に弱い。当初は振替も含めて修学旅行は例年より多く予約を頂いていたが緊急事態宣言発令後キャンセルが続いている。このままでは10月11月ともに修学旅行は厳しい。全てキャンセルになる可能性大。
- ・9月はオンハンドベースで9月並、10月以降は10%前後の予約状況。Go Toの恩恵を受けていない。
- ・不透明。東京のGo To参加、沖縄の感染状況による
- ・まだ10月は動きはない。様子をみているのでは？
- ・厳しい状況が続くと思われる。
- ・現在動向が見えない状況です。
- ・緊急事態宣言後、全てキャンセル予約なし。
- ・年内の海外旅行者はほぼ0人の見通し。
- ・一切動きが見られず、予測も何もできない状況である。
- ・キャンセル数が予約数を上回る。
- ・オンハンドが低く数字は非常に下回っている。
- ・昨対10%程度が続いている。
- ・学校行事の動きがないため予約が少しく先がまだ読めない状況です。
- ・予約は去年実績の1/3程度。
- ・4月～6月の修学旅行のほとんどが、コロナ影響により10月以降に日程変更されたものの10月以降も現在の緊急事態宣言の状況も含め取消の連絡が入ってきております。
- ・10月以降の修学旅行の中止又は方面変更が増えた。
- ・団体の問い合わせ仮予約などがあるがコロナの状況で日程変更キャンセルの恐れがある旨を先方から先に言われ、懸念される状況。
- ・10月以降の稼働率は10%を下回っている。年末年始の予約も入らず先の動きは全く見えない。
- ・現在のところ、予約は2件しか入っていない、厳しい状況です。
- ・予約1件のみ前年同時期の予約率と比較すると14%の予約率。
- ・長期滞在する方の予約はあるが、1泊の予約は少ない状況。
- ・個人は例年に比べ弱い状況です。修学旅行も取消が多く、おそらく全部取消になりそうです。
- ・沖縄の産業祭り、離島フェア、那覇マラソン、奥武山公園及びセルラースタジアムを利用する各種イベントの中止で厳しい。

4. 沖縄県民向けキャンペーンの影響について

- ・ 県外へ旅行に行けないので県内で過ごそうと思って離島にしたという方が何組かいた。例年より県民が来島した気がする。
- ・ 県内向けの宿泊プラン件数を増やすことで集客につながってきている。
- ・ 県民向けキャンペーンの効果は実感しないが、OTAの予約で県民の利用が増えた。
- ・ 県民向けキャンペーンを利用したお客様も見られるが多くない。
- ・ 県民向け助成金のキャンペーンでだいぶ稼働、売上ともに助けられています。
- ・ 前回の県内キャンペーンは非常に助かったので、引き続き長いスパンでの施策を行っていただければありがたい。
- ・ 県内向けキャンペーン大変助かった。もう少し付加価値のついた高額なプランを作ってもよかったかも。
- ・ おきなわ彩発見第二弾を利用する方が増えた。
- ・ 沖縄県及び那覇市でも再度宿泊補助事業を行って頂きたい。（県外資本（特に外資）への制限をかけた前提で） 沖縄彩発見→売上及び集客も微々たる程度。いいね那覇宿→観光協会より少しの予約はあった。
- ・ 沖縄彩発見の受客は一桁とふるわず。
- ・ 彩発見キャンペーンの集客は非常に少なかった。自社独自の地元プランを販売した事で全体の約10%集客。
- ・ 彩発見キャンペーンを行った当初は動きがあったが、県独自の緊急事態で期待したほどの動きはない。
- ・ 彩発見ではほとんど恩恵を受ける事はなかった。那覇とま〜るクーポンでは多くの那覇市民・県民の皆様にご利用いただいております。Go Toキャンペーン併用も追い風になりました。那覇とま〜るクーポン事業の継続を希望します。
- ・ 県の予算枠問題もありますが、第一弾で好調だった「沖縄彩発見キャンペーン宿泊」の第二弾を検討頂ければと思います。国の施策である「Go Toキャンペーン」設定も思うほど伸びておらず当分、定着するまでの間、地元の強化宿泊販売で繋げていければと模索中。
- ・ 彩発見にあわせてプランなどもくみやすかったため、若干算定率はアップした。今年一年はキャンペーンなどを継続して欲しい。
- ・ 彩発見は数件の利用しかなかったが、那覇とま〜るクーポン事業での8月は一定の集客に繋がった。これまで利用していなかった県民（那覇市民）にホテルを知ってもらう意味でも効果はあったと思う。
- ・ 那覇とま〜るクーポン事業が一番、効果的だったと思う。県内用のキャンペーンはTV、ラジオ、CMを利用してよりわかりやすくユーザーに伝わると更に利用されると思う。
- ・ 那覇とま〜るクーポンは予想以上に反響がよかった。れいねんであればスポーツ関係団体が主な売上だが今年はコロナの影響で全部キャンセルになったため、那覇とま〜るクーポンでどうにか売上を作れたので助かった。また早い段階でGoToキャンペーンと併用することによって上手く集客できた。
- ・ 那覇とま〜るクーポン、最後の追い込み需要が殺到。週末を中心にリカバーできて助かった。
- ・ 那覇とま〜るクーポンで計178名様にご予約頂き、売り上げを確保することができた。
- ・ 那覇とま〜るクーポンと、Go Toトラベル併用が大人気でした。電話受付・手動入力のため処理に人・時間・金がかかった。
- ・ 那覇とま〜るクーポンとても好評で助かりました。
- ・ 那覇とま〜るクーポンは順調に取り込みで来たが、実際の予約に関してトラブルがあった。また身分証明書のコピー保管や請求書の様式など、業務量が増え今の時代にあったやり方ではない事が現場では混乱を呼んでいる。
- ・ 那覇とま〜るのクーポンが大変好評でした。期間をもっと延長してほしいという声がありました。
- ・ 那覇とま〜るは、まずまずでした。宣伝（TVコマーシャル等）が大きく影響したのでは。
- ・ 特に那覇とま〜るクーポンの反響は大きく、全体で約700人、売上は300万ほどあった。
- ・ 地域クーポンの利用の斡旋。どのホテルも値下げを行ったり、集客に苦戦。
- ・ GoToキャンペーン及び地方自治体クーポンの併用で集客することが出来た。
- ・ 8月後半に直前予約が数件入ったか期待していたが少なかった。
- ・ Go To トラベルとの併用が可能なこともあり、多くの地元客にご利用いただいた。
- ・ Go To と彩発見の併用が多い。
- ・ OTAを利用した地元プランで7月初旬より143人泊の集客につながった。
- ・ メディアでのキャンペーン発表後、すぐにお問い合わせが多数あり注目度は実感した。実施月が夏休みの時期だったためキャンペーン利用客も家族層が多く多人数の家族層の集客になった。
- ・ 県民の宿泊が一番、集客多い。
- ・ 例年だと地元プランのお客様を集客できるが、地元向けキャンペーンのため高級ホテルへ流失したと見られ、又県の緊急事態宣言後はキャンセルが相次ぎ大きな集客には繋がらなかった。
- ・ 移動自粛の為か、使用する人は少ない。
- ・ 何件か予約は入っていたがコロナ渦でキャンセルとなった。
- ・ 緊急事態宣言（延長）に伴い、キャンセル発生、新規予約も低調。
- ・ 県民プランも行っていますが予約はそれほど多くありません。
- ・ 特に離島に来る方は多くない。安宿にはあまり効果が感じられないと思う。
- ・ 特に効果は見られない。
- ・ 効果全くなし。
- ・ 独自の取組として本部町内の地域行事の料理、オードブルの受注に力を取り入れ集客に繋げた。

5.『Go To トラベルキャンペーン』に関する影響や、ご意見

- ・ホテル側の手間が増えるばかりで困っているが需要としては必要。早急な整備をお願いしたい。
- ・除外されている東京の人がGo To de予約を入れたことがチェックイン時などに判明した場合のように対応すればいいかななどの対応策がない。
- ・手続きが難しく困った。離島では説明会への参加も難しく何とか手続きは済ませたが諸処の経費がかかるなどの情報は後から知った。東京が除外されていることも理由だとは思いますが沖縄県が独自に緊急事態宣言をしたことでGo To キャンペーンの利用も鈍い。
- ・やっと詳細が明らかになってきた。当初は詳細が決まっていなくてどうしたら良いかわからない状況でした。東京が除外になり約1000ルームナイトのキャンセルが出た。沖縄県の緊急事態宣言も重なり宿泊・レストランのキャンセルが相次いだ。まだGo Toの効果は感じられません。沖縄県の緊急事態宣言の終了と東京都のGoToキャンペーン参画を望んでいます。
- ・沖縄県独自の緊急事態宣言が発令されたことにより多くのキャンセルと東京都が除外されたことによって受注は期待値とは反比例である。また詳細な内容が宿泊業者に知られることなくスタートをきったためかなりの混乱であった。
- ・7月は全くと言っていいほど影響はなし。8月は少し予約が増えたが地元キャンペーンほどではない。9月からの宿泊以外の割引がプラスになってからでしょうか・・・？
- ・全体の予約数に対する割合は多いものの更なる集客を望む。
- ・GoToキャンペーンの地域共通クーポンが開始されれば、更にお得にご案内できるので早期開始を期待している。
- ・直前の東京除外やすべてが明確でないままのスタートだった為、少し戸惑う部分も多かった。
- ・Go To開始と同時期のコロナ報道やGo TO政府批判的報道が多かった為か県外から多くの観光客には繋がらず。県内は併用クーポンで大入りになり助かりました。
- ・沖縄の緊急事態宣言発令以降、キャンセルが増加した。
- ・若干GoToトラベルの影響で予約は入ったが沖縄県の緊急事態宣言が延長する毎にキャンセルが出てくる。
- ・開始後1ヵ月で400万人の利用があったと菅官房長官の報道があったが、方面別でどのような利用がされたか調査していただきたい。
- ・クーポン券の発行と東京もとこめば集客につながると思います。
- ・沖縄県の緊急事態宣言後、予約のキャンセルやコロナウィルスの感染状況の問い合わせが増加した。
- ・不明。未定が多すぎる。
- ・手間暇をかけた割にはキャンペーンの効果は実感しない。
- ・東京からのお客様がない状態が続いている。
- ・順次対応中、staynaviも9月1日より使用します。
- ・仕組みが複雑化し社内でのオペレーションが混乱した。9月以降地域共有クーポンも開始になるので、情報をしっかり社内共有してスタッフにもお客様にもわかりやすいオペレーションをしたい。
- ・東京除外と県独自の緊急事態宣言によりキャンセルが増加した。
- ・東京が除外になったことで集客が伸び悩んでいる。今後、東京も対象となることで集客の伸びに期待したい。
- ・東京が除外になった事もありキャンセルが増加した。首都圏解除の場合は早めに準備を進めさせてほしいですね。
- ・東京の除外のキャンセル増。
- ・東京除外・県独自の緊急事態宣言で期待したほどの動きはない。
- ・沖縄県緊急事態宣言延長に伴いキャンペーン利用要約は低調。地域共通クーポンについての質問が増加。（対応のみ煩雑）
- ・通常と異なる対応が多いため、現場担当の負担が大きい。
- ・施設側にも十分な情報が入ってこないことがある。
- ・沖縄県民でも利用できる内容が、PR不足と認知不足によりまだまだ浸透されていない。県ならびにコンベンションビューロー含め関係機関より、発信強化をお願いできればと思います。
- ・当初はゲストへの説明が全くできない状態。キャンペーン自体は、まだまだ継続していただきたい。
- ・情報がなく、取扱いに困っている。
- ・元々の予約の人がGo To に変更してきている人が多いので急に予約が増えてはいない。
- ・8月においては効果なし。施設に対する・利用者に対する説明が全くできていない。お客様のお問い合わせが施設に頻繁にくることで業務に支障をきたしている。
- ・施策の準備が整わないまま直近に入るので混同している。
- ・お客様からGo Toキャンペーンで必要なものがわからないと、問い合わせが多いです。
- ・登録までの操作（バナーを貼らなければならない）等、パソコンの知識が乏しい自分には難しい事が多く途中で止まっている。
- ・Go Toは東京を外されたが、全国からの客が来ることと県内にも感染者がでたため登録施設としては敬遠していた。しかしこのように予約がフリーズしていることから現在は施設登録として承認を得ている。
- ・新規予約についてはあまり効果を感じられず。既存の予約で思いがけず対象になった方は制度利用を喜んでおられましたが事務的処理及び手数料が発生し当方にとっては7月・8月はマイナス面の方が大きかった。
- ・Go To対応店であっても割引を受けられるからといって予約が多いわけではない。安宿より値段の高い宿へ泊まりたい心理かと思う。
- ・内容もシステムも把握済みなのだが自社販売する場合の「ステイナビ」がユーザー側からは利用しにくい。期間が長いのでこれから多くなると思われる。
- ・地域共通クーポンなどの情報が入ってこない。チェックイン手続きの際に身分証の確認作業などを簡素化してほしい。
- ・利用は増えてきつつあるが、沖縄独自の緊急事態宣言があり、期待していた伸びにはなっていない。

6. 施設での困りごと・その他要望などがございましたら自由にお書きください。

- ・ 持続給付金の継続。那覇とま〜るクーポン事業の継続。医療従事者の宿泊施設（費用） 国が、沖縄県が「全国に向けて旅行を推奨宣言」的なものを出して頂ければ旅行マインドも上がると思います。
- ・ コロナ感染防止のガイドラインに沿って営業をしておりますサービス内容（食事内容や営業時間）が変更になっている部分があるがそれがクレームに繋がったりしている。お客様全員にご納得頂くのが難しい。
- ・ コロナ対策に関する助成金を増やし、手続きを簡素化、幅広く利用できるようにしてほしい。助成金等に関する情報を発信してほしい。（使える補助金があるのかどうかかわからない）
- ・ 雇用調整助成金制度が延長にならないと、雇用を守りきれない。
- ・ 先が見えないことにより戦略が立てられない。
- ・ 現在の状況が続くと営業継続が厳しくなる。
- ・ 今年度の支払いができないと思うので自社存続に関して大きな不安しかない。
- ・ 宿泊施設にとって、観光客及びインバウンドの需要が戻らない限り低迷したままである。
- ・ 団体が見込めず今まで以上に厳しいシーズンになると予想。需要喚起策の他給付などの支援も継続をお願いしたい。
- ・ まだまだ継続的な支援が必要である。ホテルが稼働している以上消毒液やマスクなどは常時使用できる状態にしておかないといけないし、そのためには金銭的な支援は必要だと感じます。
- ・ 去年と比べても稼働率がかなり下がりそれにともないスタッフの勤務時間に影響が出て収入が下がっているのでもまだ補助金などの国からの支援が必要である。
- ・ 感染予防のためにかかった費用を負担してほしい。沖縄の緊急事態宣言から予約キャンセルが多くて困っている。支援が必要だと感じる。
- ・ 9月〜11月と今後の客入りが不安で支援は継続的にお願いしたい。
- ・ 集客が難しい現状ですので経営維持のため支援が必要である。
- ・ 継続的な支援が必要である。
- ・ 継続的な支援をお願いします。
- ・ 支援の延長、コロナ対策の補助・国への給与保証。
- ・ 継続的な支援が必要。来沖していいのかというお客様の問い合わせ。
- ・ 観光・宿泊業の雇用支援の継続。
- ・ 9月以降団体シーズンの人の入りがなく大変困っています。県や九州内などのGo To併用クーポンなどあれば助かります。助成金などもしばらくはお願いしたいです。（ただ処理に人・時間を費やすのに困難面ありました。）
- ・ 9月以降も厳しい状況なので県・市にはぜひご支援をいただきたいです。（那覇とま〜る第2弾等）
- ・ 県民向けキャンペーン（那覇とま〜る、いいねNAHA宿）の第二弾を強く要望する。
- ・ 那覇とま〜るクーポンのような支援が必要。
- ・ 域内キャンペーンは不可欠である。公共料金の減免をお願いしたい。（特に電力）
- ・ 今後も何らかの支援があるとありがたいがその際はしっかりと足並みを揃えた状態、万全な状態でスタートできるようにしてほしい。
- ・ マスク、手指消毒の経費、休業手当の延長（最低限の人数で仕事している状態）
- ・ 医療施設の充実・確保を早急に対応してもらいたい。
- ・ 宿泊もそうだが、館内店舗の売上と雇用維持が最も大変です。
- ・ 沖縄県の緊急事態宣言によりほとんどのゲストがキャンセルをした。しかたのないことかもしれないが、知事には発言に伴う経済に及ぼす影響力を十分考慮していただきたい。